

●●●平成30年10月～12月期 栃木県中小企業景況調査(158回)●●●

【栃木県D I 指数天気図】

今期(県内全体)の業況
































D I 値
-15.9
※全国 -13.8

point!

県内全体の業況(DI値)は、前期比+1.0ポイントの「-15.9ポイント」となったが、全国との差は-2.1ポイントとなった。製造業・小売業では悪化傾向が続いている。

～天気図の指標～

現状	良い	やや良い	やや悪い	悪い	とても悪い
天気図					
D I 値	15.1～	15～0.1	0～-15	-15.1～-40	-40.1～

業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り	来期予想(全体)
製造業							
	D I 値	-11.9	-13.3	40.7	-10.0	-23.4	2.6
業況：今期は小幅な悪化、来期は大幅な改善が見込まれる (D I 値 前期比-7.0ポイント)							
建設業							
	D I 値	-8.0	-15.0	45.0	0.0	-20.0	1.5
業況：今期は小幅な改善、来期も引き続き改善の見通し (D I 値 前期比+7.0ポイント)							
小売業							
	D I 値	-28.5	-25.0	40.0	-30.0	-25.0	-14.9
業況：今期は小幅な悪化、来期は大幅な改善を予想 (D I 値 前期比-6.5ポイント)							
サービス業							
	D I 値	-15.2	-13.4	35.0	-31.7	-23.3	-15.9
業況：今期は小幅な改善、来期は横這いの見通し (D I 値 前期比+7.9ポイント)							

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります

【経営上の問題点】

製造業

- 第1位： 製品ニーズの変化への対応 (19.7%)
- 第2位： 需要の停滞 (18.4%)
- 第3位： 生産設備の不足・老朽化 (14.5%)

小売業

- 第1位： 需要の停滞 (24.1%)
- 第2位： 消費者ニーズの変化への対応 (22.4%)
- 第3位： 大・中型店の進出による競争の激化 (17.2%)

建設業

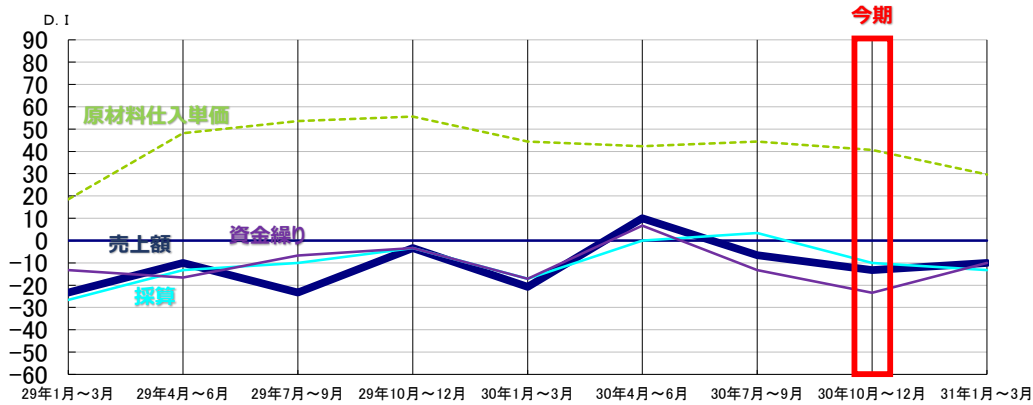
- 第1位： 従業員の確保難 (26.5%)
- 第2位： 材料価格の上昇 (17.6%)
- 第3位： 民間需要の停滞 (14.7%)

サービス業

- 第1位： 利用者ニーズの変化への対応 (15.7%)
- 材料等仕入単価の上昇 (15.7%)
- 第3位： 需要の停滞 (12.4%)

製造業

「全体的に悪化傾向、原材料仕入単価の減少は継続見込み」

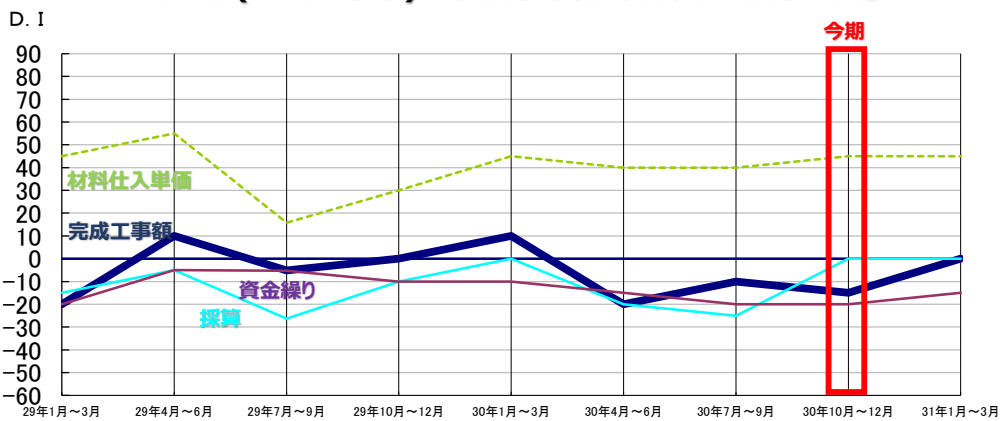


今期は、前期に比べて「売上額」が-6.7ポイント(-6.6→-13.3)、「資金繰り」が-10.1ポイント(-13.3→-23.4)、「採算」が-13.4ポイント(3.4→-10.0)の悪化となった。来期において、「売上額」「資金繰り」は改善、「採算」においては悪化が見込まれる。

「原材料仕入単価」は-3.7ポイント(44.4→40.7)減少し、来期も-11.1ポイント(40.7→29.6)の減少が見込まれる。

建設業

「売上額(完成工事額)が小幅な悪化、採算は大幅な改善」

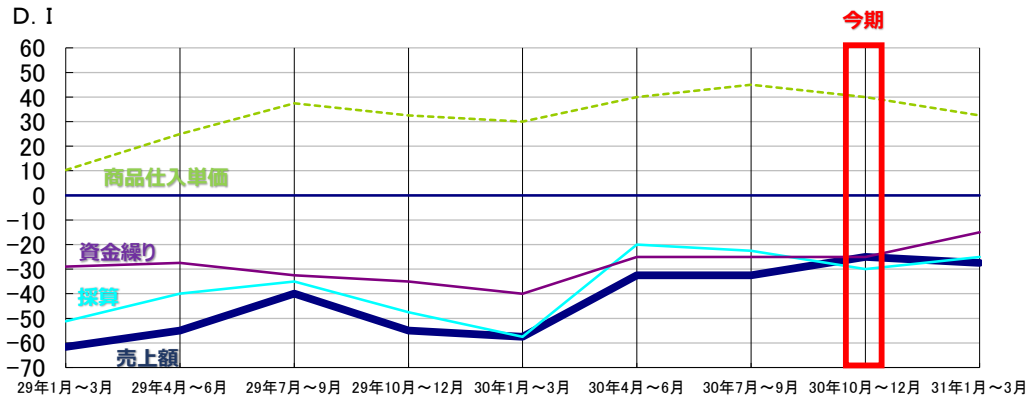


「売上額(完成工事額)」は前期比-5.0ポイント(-10.0→-15.0)悪化。「採算」は+25.0ポイント(-25.0→0.0)の大幅改善、「資金繰り」は横這い(-20.0→-20.0)となった。来期においては「売上額(完成工事額)」、「資金繰り」が改善の見通しとなっている。

「材料仕入単価」については今期小幅に上昇、来期は横這いとなる見込み。

小売業

「売上額が改善、来期は資金繰りが大幅に改善見込み」



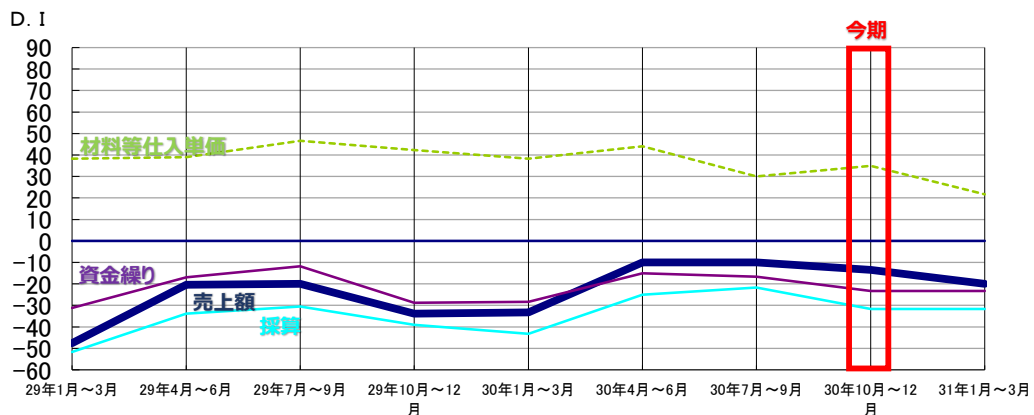
「売上額」は+7.5ポイント(-32.5→-25.0)改善、「商品仕入単価」は-5.0ポイント(45.0→40.0)減少、「採算」は-7.5ポイント(-22.5→-30.0)悪化、「資金繰り」は横這いとなった。

来期は「売上額」が-2.5ポイント(-25.0→-27.5)悪化、「採算」は+5.0ポイント(-30.0→-25.0)、「資金繰り」は+10.0ポイント(-25.0→-15.0)の大幅な改善となる見通しである。

「商品仕入単価」は来期-7.5ポイント(40.0→32.5)の減少を見込んでいる。

サービス業

「全体的に悪化傾向、来期は原材料仕入単価が減少見込み」



今期は「売上額」が-3.4ポイント(-10.0→-13.4)、「資金繰り」が-6.6ポイント(-16.7→-23.3)、「採算」が-10.0ポイント(-21.7→-31.7)悪化、「原材料仕入単価」は+5.0ポイント(30.0→35.0)の増加となった。

来期も「売上額」は減少、「採算」「資金繰り」は横這い、「材料等仕入単価」は減少となる見通し。

調査要領

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的实施に資するものとする。本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目(売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り)から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区（栃木県商工会地区）

にのみや・小山市美田・那須町・上三川町・都賀町
佐野市あそ・間々田・湯津上・黒羽・塩谷町

○調査時点

平成30年11月15日

○調査対象期間

平成30年10月～12月期の実績及び、平成31年1月～3月期の見通しについて調査

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

○回答企業数内訳

業種	回答企業数	構成比(%)
製造業	30	20.0%
建設業	20	13.3%
小売業	40	26.7%
サービス業	60	40.0%
合計	150	100.0%

※D I 指数とは

報告書に登場するD I 値とは、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がりを示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。



編集：栃木県商工会連合会 経営の見える課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央3丁目1番4号

TEL 028-637-3731・FAX 028-637-2875